

平成２７年　６月３０日

中部地方建設副産物対策連絡協議会委員　各位

中部地方建設副産物対策連絡協議会委員長
(中部地方整備局長)

建設発生土の官民有効利用の試行マッチングの実施開始について（協力要請）

天然資源が極めて少ない我が国が持続可能な発展を続けていくためには、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を充実させ、「循環型社会」を構築していくことが必要であり、建設発生土については、建設発生土の場外搬出量のうち内陸受入地搬出６４％を工事間利用できていない、民間の一時ストックヤード等での不適切な取扱いが一部見受けられるといった課題が明らかになっています。

国土交通省では、平成２６年９月に策定した「建設リサイクル推進計画２０１４」において、官民一体となった発生土の相互有効利用のマッチングを強化するためのシステムを構築し、民間も含めた受発注者に対してシステムへの参画を働きかけることにより、建設発生土の更なる有効利用を図ることとし、「建設発生土の官民有効のマッチング実施要領（案）」を定め、平成２７年６月より試行マッチングの取り組みが始められました。

当協議会においても、迅速な情報交換がなされ建設発生土の有効利用が図られるべく、同様に取り組むこととしていますので、関係部署への情報提供をお願いします。

また、団体や民間企業の方におかれましては、試行マッチングへの積極的な参加、並びに情報登録についてあわせてご協力をお願いします。

(問合せ先) 中部地方建設副産物対策連絡協議会　事務局

国土交通省　中部地方整備局　企画部　技術管理課

下野、有田　　TEL：052-953-8131